

平成22年度 第2回 理事会 議事録

日 時 : 平成22年度7月16日(金) 午後6時30分～午後10時00分

場 所 : 技師会事務所

出席者 : 北村、永井、石郷、多和田、松山、森、松浦(林氏の代理)、宮内、平塚、渡辺、近藤、鈴木、兼子
西村、臼井、山本(貴)、牛丸、平沢 (18名)

議長 : 永井副会長

議題

1. 平成22年度 第2回理事会開催通知

○出席者数18名、委任状提出者4名

2. 平成22年度 第1回 理事会議事録

○2箇所訂正後 挙手多数により承認された。

- ・3. 議事録の確認 2)5地区あり1地区について3万円 → 2万円
- ・7. 役員役割分担 標準化事業実行委員長 平光 弘行 → 幹彦

3. 平成22年度 第1回定期総会議事録

○2箇所訂正後、 挙手多数により承認された。

- ・ 5. 進行 5)総会役員の選出 資格審査委員 西濃地区 臼井 信雄
(大垣病院)→ (大垣徳洲会病院)
- ・ ②平成21年度 学術部事業報告
- 4)市民健康まつり
西濃地区(大垣城ホール 10/18) を追加。

4. 平成22年度 臨時理事会議事録

○ 1箇所訂正後 挙手多数により承認された。

- ・1. 会長挨拶 今回の総会で会費の値上げと平成22年度予算案が承認されたが、
→ 平成21年度 第2回定期総会に於いて会費の値上げが承認され、平成22年度第1回定期総会に於いて予算案が承認されたが、

5. 平成22年度 第2回 常務理事会 議事録

○ 1箇所訂正後 承認された。

- ・2)平成22年度理事役分担の確認について 新役員にメール当を使って
→ 新役員にメール等を使って

★会長挨拶

- ・理事の方々には、お集まり頂いて大変ありがとうございます。それと、皆さんもご存知の岐阜県下における集中豪雨については、被害にあわれた県民の置かれましては心からお見舞い申し上げます。もし、岐臨技会員の方で被害にあわれた方がおられましたら連絡頂きたいと思います。

6. 各部の会議議事録

(1) 組織調査部 (臼井)

○昨年度から懸案でありました前組織調査長の石郷さんよりの提案事項が2件ありました。

1) 役員選出方法を見直す

- ・役員推薦規定を見直す。
- ・選挙管理規定の作成について取り組んでいきたい。
- ・次回改選は2年後なので、23年度中の最終承認を目指す。
- ・現在、各都道府県の規定を基に素案を作成中
- ・次回(8月)の常務理事会に素案を提出予定し、意見を伺った上で、次回(9月)の理事会から検討を開始して行く予定としている。

技師会の啓発活動として、待遇改善に関する事として、

2) 技師会未加入技師の実態調査について

- ・年内にアンケートを行うように考えている。
- ・素案を作成中
- ・対象を岐阜県内の技師全員を対象とするのか、それとも技師会に加入している技師とするのか、などについて次回の常務理事会で意見を伺って、次の理事会に素案を提出し、検討開始を考えている。

☆今年度は公益目的事業としては行わない。また、拡大研修会も開催されない
ということなので、今年度の組織調査部の活動はこの2点になります。

【意見】

- ・乳がん予防啓発(ピンクリボン)、エイズ&性感染症予防啓発などの公益事業については、秋に予定されているはず。(9、10月、12月)
- ・岐阜市民病院の一柳さんに確認をして下さい。
- ・理事の皆さんも公益事業に参加するようにして下さい。

(2) 学術部 (近藤)

- ・学術カレンダーについて

今後の予定などについてもアップロードしてありますので、技師会ホームページにアクセスして下さい。

議事録3. 第49回中部医学検査学会座長4名についての報告

- ・生理(心電図):野久(岐阜大学)、臨床化学:渡邊(東海中央)、輸血:佐藤(岐阜大学)、病理:浅野(大垣市民)についての報告があり、会長の了承を得て報告した。

議事録5. 非会員の扱いについて検討した。

- ・今までは、非会員について特に制限もなかったが、今後は会員のメリットを出すため、日臨技との差別化を図るために、以前は5,000円という金額が出た時もありましたが、2,000円位が妥当だろうとの案が班長会議で出てい

ます。

- ・会員でない新人の方については、技師会に入会して頂ける事をお願いして 300 円でも良いという判断を班長として行っていくという方向でどうか を協議して頂きたい。

議事録7. 日臨技学会:全国学術部長会議の報告

- ・「学術」、「コミュニケーション」、「情報」などについて話を聞いてきた。

今後の勉強会の在り方などについて、その中で若い技師の方は携帯サイトからの情報を得ることが多いという事で、今まではパソコンのホームページからの情報だったので、今回、携帯電話でもアクセスできる学術カレンダーを作成した。

★携帯サイト学術カレンダーの説明。

○愛知・岐阜・三重の三県合同の生理検査研究班の研究会在愛知県主催で企画されました。

岐阜県と三重県は共催という形をお願いできないかとの話で、共催として岐阜県、三重県で 10,000 円の支出をして下さい との依頼がありました。

●「参加多数により黒字であった場合は主催県である愛知県の収入とする」

- ・10,000 円という支出がどうかという検討をお願いしたい。
- ・最初に会長の方に話が行ってなくて、話だけが先行した状態でしたので、チャンと上の方を通じて依頼状とかお願いとかを出して頂いて、承認してそれを下ろして、最終的に皆様にお話を頂いて、皆様の承認を頂いて話を進める形で、理事会の承認を頂きたいので宜しくお願いします。
- ・10,000 円の支出について 三重県はOKが出ている。

【意見】

- ・参加費については新人技師の特例期間については各班長が決めるのか。期間はあまり長いと入らなくてもいいと思われてしまうかも。(石郷)

【回答】

- ・やはり1年間くらいが妥当と思われる。(近藤)

【意見】

- ・県外は同額でよいでしょうか。昔、愛知県では、愛知県内の会員は無料で、他県県外からは 500 円でした。今後岐阜県だけの活動になってくると県外からの人は 500 円くらいでどうでしょうか。(多和田)
- ・輸血とか一般とかもありますので。(近藤)
- ・逆に言うと、我々は愛知県にお世話になっているくらいなので、愛知県主催の研究会在に僕らが参加している状況なので、企画するのにお金が掛かるので、対等にお金を取るのはどうか。(石郷)
- ・他職種については、どうするのか。放射線技師さんが参加の場合があったが、同じ 300 円という話になりましたが。(兼子)
- ・とりあえず、それでやりましょう。やはり沢山の方に参加してもらいたいから。(北村)
 - ・あまり敷居を高くしてしますと良くないのでは。(石郷)
 - ・他県と同じ扱いとすれば良いのかなと思う。(多和田)

(議長)

☆それでは、学術部・第1回班長会議議事録について、また非会員は 2,000 円、一般会員・新人技師・他県・他職種の方は 300 円徴収することでよろしいでしょうか。賛成の方、承認の方は挙手をお願いします。

→挙手多数により承認された。

●案内は、8月分の発送で案内させて、9月1日あるいは10月1日から実施したいと思います。(近藤)

★愛知・岐阜・三重の三県合同の生理検査研究班の研究会について

岐阜県として10,000円を協賛することについて

【意見】

- ・森班長からメールがあり、『「儲かったら返そうかな？」というような事を愛知県側の事務局から言ってきたようだ。丸々愛知県の収入にするのではなくて(返すにはどうしたら良いでしょうか?)という事らしいですが、どうしたらいいでしょうか?』との内容であった。(兼子)
- ・黒字の場合だったら良いが、赤字だったらどうなるかという方が見えていない。赤字の場合は共催県でも負担してくれっていう事だったら困る。(石郷)
- ・このことは、本来、愛知県の会長の考え方であって、班長がどうこうする問題では無いように思える。本当なら愛知県の会長として、岐阜県の会長宛に送るべきものだと思う。あとの会計の事は愛知県としてやってもらうことが普通だと思う。(石郷)
- ・三県で行う様な企画は、連絡を密に取り合いながら、うまく良い方向に持って行ってもらいたい。(北村)
- ・領収書と会計報告だけはきちんとしてもらいたい。(石郷・近藤)
- ・こういう問題もあるので、初めての事でもあるし、今後の事もあるので中部地区理事会では、決めようって話し合っているところです。(北村)
- ・参加者名簿(岐阜県からの参加者を把握したい)も報告してもらいたい。(石郷)

(議長)

☆それでは、10,000円は支払うという事で良いですね。よろしいですか?

→三県合同の研究会については、理事会で了承された。

◎日臨技公益事業『国民健康増進委託事業』について

- ・日臨技としては、乳がん・HIV・STI予防啓発を委託事業としたいとしている。
- ・乳がん啓発は、9月、10月、エイズ・STIは12月を中心に開催するので2か月前までに取りまとめる必要があり、企画書を提出しなくてはならない。(乳がんは8月末までOK)
- ・国民健康増進事業の際に配布する「あぶらとり紙」を日臨技は発注した。

(3)広報宣伝部 (山本)

1. 今後の会報配布方法

- ・PDFは段階的に進めていきたい。
- ・会報は各施設1部を配布予定。
- ・印刷は事務所のコピー機を使う。1枚10円で裏表印刷し4枚使い、150施設あるので、 $40 \times 150 = 6,000$ 程度になり、年5回で30,000円程度になる。

4. 原稿の御礼

- ・図書券500円分を渡すようにしてはどうか。

●皆さんのご意見をお願いします。

【意見】

- ・広報宣伝部の雑費として 5,000 円が計上されているので、これを利用して図書券で10名分ほど配ることが出来る。このことにより、原稿が集め易くなりはしないかとの発想です。(石郷)
- ・今回は雑費で良いが来年度は予算立てしてはどうか。(北村)
- ・今年度の様子を見て、良ければ『原稿謝礼』などとして予算立てしていく方向で良いですか。(兼子)

(議長)

☆それでは、原稿謝礼として 500 円ということでした承よろしいでしょうか。

→理事会で了承された。

- ・あとは、年5回の会報の発行と原稿にご協力を宜しくお願いします。(永井)

(4)精度保障事業部(多和田)

- 事務局当日配布資料中の『制度保障事業部』を『精度保障事業部』に訂正する。
 - ・田中部長欠席のため、実行委員長:多和田氏より説明があった。
 - ・第1回、第2回、第3回のそれぞれの議事録がお手元にあるとおもいますが、集計の結果、精度管理の申し込み件数が若干昨年度に比較して減っています。(5/29現在)
これが、収益減に繋がりますので、電話攻勢により要請しましたが、最終的には、昨年度63施設が今年度58施設に減りました。メーカーは、変わらず14社であるため、予算としては「何とかなるかな」と思っているのが現状です。
 - ・標準化に関しては、44施設から37施設に減っているのが現状です。
 - ・第1回標準化事業に関しましては、試料の配布が終わってしまっていて、結果の報告については、昨年度まではQCリンクスを利用していましたが、今年度は、こちらで集計表を作りましたので、これで良ければ配布したいと思います。(集計表を理事に確認のため配布その後回収)
 - ・標準化事業ということで、基幹施設と全体施設へ結果と試料表を配布しそれぞれの施設で判断して頂く。
 - ・評価方法については、本来は△という表現はまずいかもしれませんが、4SDを外れた値は×という評価にしました。そのような施設は、「基幹病院などにご相談して下さい。」と記載しました。
- 宜しければこのような形で配布したいのですが。

【意見】

- ・結果の意味合いについての解説が要るのではないか。(北村)

【回答】

- ・今回は全体ではなく、自分の施設しか載っていないので、自分の施設として、どのように改善していくのが重要と考えている。(多和田)

【意見】

- ・標準化事業っていうのは精度管理+αがあるのではないか？(北村)

【回答】

- ・標準化事業とは、基幹病院があってそこから指導していく立場になるので、その施設が合わせてくるというのが本来で、他の施設との差が見たければ統計値を見れば済むと思います。また、昨年度は、各施設を回って指導しましたが、今回は出張費も嵩みますので、各施設が基幹病院に聞きに来るのが本来だと思います。各地域で精度を上げて来るのが本来で、各地域に基幹病院を置きたかったのですが、東濃地域では無く4つしかないの今後どうするのかって事については、はっきり言って見えていないです。

- ・日臨技に対して報告書も送付しなくてはいけないので、一応やるという事で、本来は精度管理と全く一緒のことです。
- ・基幹病院の目標値を設定して「それに合わせましょう」というのが標準化の流れです。
- ・結果の悪い施設は全体統計の平均値とも違うし、基幹病院の値とも違うので、同じ方向にズレるので、何らかの改善を考える必要があるという事を認識して頂くという事だと思います。（多和田）

【意見】(北村)

- ・大変なことだとは思いますが、必要な事ですから、基幹病院としての意識をもってもらうようお願いして下さい。

【回答】(多和田)

- ・そこまでの意識を持って基幹病院を受けているのかは疑問であるが、田中部長にそのように伝えておきます。

【意見】

- ・基幹病院になることは地域で誇れる事ですから、認証のこともあるので、基幹病院の存在意義(相談・指導)については時間を掛けて理解してもらうようにしてもらいたい。大事なこともあるので。(北村)
- ・◎とか○や△の意味が分かりづらくないだろうか？(北村)(石郷)
- ・予算面ではどうなの？(永井)

【回答】(多和田)

- ・項目についての詳細については何処かに記載するようにします。
- ・2SDに入ったものは、△から○へ変更します。
- ・予算については、当初の予算より収益面では落ちていると思います。

【意見】

- ・QCリンクを使うよりは、事業部の努力によって補えるのであれば、非常に良い事だと考えています。(北村)

(5)会計部 (兼子)

1. 6月分の決算について

- ・計上収益の入会金は、14名の入会があった。
- ・正会員の収入が15名(新入会も合わせて)。
- ・賛助会員は、7社 210,000 円。
- ・日臨技からの交付金 810,000 円がありました。
- ・収益は予算額を上回ってまして、有難いことだと思っています。

【意見】

- ・賛助会員の会費の未納については請求をした方がよいのではないかと。何回もお願いして下さい。(北村)

【回答】

- ・賛助会員については請求を行います。(兼子)

【意見】

- ・会員については、請求があって初めて気が付く場合もあるから会計部より督促状を送って、退会かどうかの確認を行う作業が必要となる。(北村)

2. 広告収入が今月も 10,000 円入りましたが、何処に広告を掲載するのか

- ・名簿を出さないという事になっているので、会誌を発行しなくてはならなくなるが。(兼子)

【意見】

- ・会員名簿には広告は載せたくない。(北村)
- ・学術の方で会誌(学術誌)を出すようになるのか。(兼子)
- ・学術誌を出すとしても費用はどうするのか。学術費で出すのか。(近藤)
- ・貰っているお金がある以上は広告を出さなくてはいけないので、宜しくお願いします。(北村)
- ・ホームページに掲載する方法は。(近藤)
- ・ホームページについては今後検討して行く。(北村)

3. 6月分の支出についての説明

- ・人件費については先月分を翌月支払うので未払い金扱いとなっている。普通の会社は20日や25日にしめているから、未払い金は発生しない仕組みとなっている。今のやり方で良いか。(兼子)

【質疑内容】

- ・やり方だけです。月末に支払ったほうが本当は良いですけどね。(牛丸)
- ・今年度末までに変更すればいいですか。(兼子)
- ・中間決算があるから、9月までの方が良いです。一回だけ20日間分の給料が早めに出るだけです。(牛丸)
- ・本人と相談して決めてください。(北村)
- ・領収書は金額のみの記載では内容がわからないため、明細書になっているレシートの方が良いが、領収書に明細(単価×数量)を記載してもらいたい。(牛丸)
- ・領収書を貰うとレシートは取られてしまう。レシートの方が良いですか？(兼子)
- ・レシートの方が明細が記載されているので本来は良いですが、「内容の判るものを付けてください。」などをお願いするようにして下さい。(北村)(牛丸)
- ・一括購入の切手等について、管理簿が無いので、使用状況が分かる『受払管理簿』を作成して下さい。(大学ノートで良い)(牛丸)
- ・中間決算がありますから、各部門研究班への活動費の前払いについては、遅くとも9月28日頃には精算して戻してもらって、残金を0円とするようにして下さい。(牛丸)
- ・交通費については、その時渡せなかった人の分については出来れば各班の代理人に受け取りの署名をもらった方が良い。(牛丸)
- ・研究会の開催費用については、裏に領収書を貼って通番とするように。(白紙や使用しなかった分(会員用)も取っておく)(牛丸)

《事務員の給料について》

- ・給料の月額が88,000円以上は源泉徴収が必要になる。通勤費の非課税16,000円を区分した給与明細にすれば、非課税の枠内になります。(牛丸)
- ・日額で雇っているので、契約には通勤費は元々入っていない。(北村)
- ・20時間分は通勤費として16,000円支払う明細書にすれば良いのでは。(兼子)
- ・明細書ベースだけで済むのなら、それでも良いですが。(北村)

◎外部講師料の取扱いについて(近藤)

- ・11,111円から税分の1,111円を引いて10,000円を渡す方式でしたが、今後は9,000円を渡して10,000円の領収書を書いて頂く形に変わります。
- 外部講師の場合は、事務局から源泉徴収のための書類と一緒に送りますので、当日先生方に住所とか氏名とか

書いて頂いて一部は本人さんの確定申告用、一部は事務所に返却してもらおう。

◎交通費について(兼子)

- ・理事会メンバーの交通費一覧表(氏名・住所・距離数・金額など)を説明。
- ・50kmを超える場合は、高速を使用してもらうように計算してあります。
- ・車で事務所まで来るので、10当たり10km、200円で計算してあります。
- ・高速を利用しなかった時は、寄付して下さい。判断はお任せします。
- ・当日お金を用意しなければならないので、この方式でお願いします。
- ・講師の日当については、会員が講師の場合は日当1,000円、交通費は別途出ます。
- ・昨年度の日当や交通費を基に予算化されていますので、本年度は減ります。

○土日の交通費については、もし良ければご自宅の住所を今日教えて頂ければ、次回から土日に関しては支給出来ませんが、どうでしょうか。(兼子)

- ・交通費に関しては、本当は皆が納得できるようなシステムが良いのだけど。(北村)
- ・交通費に関しては、住所も番地までは要らないです。(兼子)
- ・理事の皆さんは、住民票の提出により登録されますけど、個人情報の問題に関しては、それ以外の目的には使わないのでそれでどうでしょうか。(北村)

(議長)

☆それでは、交通費についてはこの方式で行くということで宜しいでしょう。

→理事会で了承された。

今後のこともありますので宜しくお願いします。(北村)

◎学術案内について(兼子)

- ・学術カレンダーを見てもらえば良いのではないかと意見も有りましてニュースソースや印刷物を少しでも減らしたいという提案をしたところ、「アンケートのような物を作れ。」と会長から指令を受けまして、作ってきたのがこの資料です。
- ・挨拶があって、アンケートのことについて説明があります。
- ・これであまり細かく分けると、事務のほうが大変になるとも思われますので、簡単ではないですけど。

【意見】

- ・このアンケートを行ったところで、決まらないと思うので、『来年度からはこういう形で施行します。』という様にしました方が良いのではないかと。(石郷)
- ・それは難しいと思えるので、いきなりやるよりはこういう形を一回やった上で『こういう方針でやりますよ。』とした方が良いと思う。会員に解ってもらった方が良いのではないかと。(北村)
- ・メールで良い施設とそうじゃない所とある程度区別は出来そうです。(兼子)
- ・賛助会員は、郵送かメール便で送らなくてはいけない。しかし、一般の会員はメール配信でも構わないと思う。(石郷)
- ・一般の会員はメール配信でも構わないが、見ない可能性が高いですよ。(兼子)
- ・紙でも見ない人は見ないので、そういう意識付けを行って行くためにも、それはやっていかなければ駄目だと思う。(北村)
- ・自分が会員であれば、何処から情報を得るのかは、チャンとしなくてはならない。そのために携帯メール配信も

行う訳だから。(北村)

- ・アンケートを配っても良いですか？その結果を見てどうするか考えなくてはいけない。(兼子)
- ・趣旨をしっかりと書いてもらって、送って下さい。(北村)
- ・この送付先は自宅会員と施設責任者になるのか。(石郷)
- ・施設会員と自宅会員が対象になります。(兼子)
- ・本当は各施設責任者に今後はメールを見るように時々案内をしていかなくてはいけないと思う。(石郷)
- ・そういう事は、やっぱり施設連絡責任者という立場から、やるようにしてほしい。(北村)
- ・そういう事を総会などで言う必要がある。(永井)

(議長)

☆アンケートについては、宜しいでしょうか。

→理事会で了承された。

◎学術活動費について(兼子)

- ・前もって各研究班に対して前金で準備金を渡すという事自体が問題だと会計士さん(牛丸さん)の方から指摘がありました。
- ・一回研修会開催が終わったら、決算書を出して残金を返してもらうのが本来のやり方。(石郷)
- ・毎回、研修会の終了する毎に事務所に来る事は出来ないと思う。(近藤)
- ・研究会などが行われる前にお金がある場合は立替払いして請求書を持ってきて下さい。領収書と引き換えにお金を渡します。お願いします。(兼子)
- ・学術案内は公認JAMTでお願いしたいが良いでしょうか。

(6)法人対策部 (鈴木)

- ・勉強会には参加していますが、今後も勉強会の開催があれば参加して行きたい。
- ・8月19日一般法人の移行について公益法人セミナーが開催されるので、会費は3,000円です。
- ・今日お願いしましたが、出来れば、会計部の兼子部長さんと一緒に参加したいと考えています。
- ・また、理事会で検討してもらいたいが、法人は公益法人か一般法人かを平成25年11月までに手続きを終えないといけませんので、来年1年かけて20年度の基準に基づいて、会計とかもしっかり申請が出来るように準備して取り纏め、出来れば**平成24年の春**には申請できるようにしないといけないので、会長をはじめ理事会で話し合ってください。
- ・平成25年の申請が却下されると解散になってしまうので、平成24年のどこかでは一度申請して、不都合が有ればまた変更して申請したい。

【意見】

- ・一般にするのか、公益にするのか決めなければならない。(北村)
- ・総会などに向けて、それまでに会報に進捗状況などを載せて会員に知らせるのも一つの手だと思います。(石郷)
- ・各自法人化の資料などを見て下さい。(北村)
- ・大先輩たちが、公益法人を取得してきたので、その方向でやっていきたいと思ってきましたが、どうも難しいような印象を持つようになってきた。(北村)
- ・皆さんもいろいろな資料を見て勉強をして頂いて頑張っていきたいと考えます。(永井)

(7)庶務部(平沢)

連絡事項

- ・戸籍抄本でお願いしていたが、現住所が記載されている物が必要ですので、住民票の提出をお願いします。7月中旬に事務所宛てに送ってください。
- ・会議への出席、欠席の確認ですが、開催されるその週の火曜日の昼までには、事務所宛に返事を頂きたい。お弁当の発注が間に合わなくなりますので、お願いします。
出席票でなくても返信メールで構いませんので、お願いします。
- ・事務所使用状況については次回の理事会で報告します。

◎第51回中部地区医学検査学会の開催について

石郷副会長が説明

- ・平成24年に岐阜県が担当することになっています。
- ・本来は三重県なのですが全国学会をやるので、1年早く担当することになりました。
- ・東濃地区には順番なので、再三、開催についてお願いしてきましたが、会場などの問題があり難しいとの事でしたので、岐阜地区と協力する形で開催したいと思っています。
- ・東濃地区と岐阜地区で実行委員長と事務局長を面倒見て頂きたい。
- ・実際には日臨技の支部化などいろいろな問題があり不透明な部分もありますが、中部学会は岐阜県で開催しなくてはならないので、東濃地区と岐阜地区の地区理事と常務理事および部長で運営メンバーを募ってそこから、学会長、実行委員長、事務局長などを選出していかなければならない。
- ・500人以上1,000人未満の県内外の会員参加でコンベンションを利用すれば岐阜市から100,000円の補助金が出る。
- ・会場については、場所をいろいろ考えているが、立地条件や会場面積、部屋数などを考慮して、会場を決めなければならず、運営メンバーで運営会議を開いて会場場所を決定していかなければならない。
- ・来年の2月までには運営のメンバーを決めなければなりませんと思っています。
- ・実務的に動けるのは、会場のある岐阜地区の地区理事になるのかなと思っています。
- ・事務局長や会計は東濃地区に担当してもらっても良いではともっています。(案)
- ・役割分担を決めなくてはいけません。
- ・大垣で開催した時のマニュアルはあるので、必要ならファイルで渡す事も可能です。

(北村)

- ・今日のことを誤解して東濃地区へ意見を持っていかれると困るので、無理なものは無理でしょうがないが、お手伝いはしてもらいたい。それはすると断っていたので。
- ・地区だけで行うという無理もあるので、岐臨技全体で運営していく格好で進めていきたいと考えています。

(石郷)

- ・細かいイベント会社との調整などもあるので、実務者は会場から近いほうが良いとも思える。
- ・今年の秋に中臨技に持って行くときには大体の構想を言わなければならない。
- ・学会のメインテーマなども来年の春には次回の愛知県担当中部地区学会にあわせて、アナウンスをしなくてはならない。

- ・平成24年度は役員改選の年になるので新しい役員に「それじゃあお願いね」って訳には行かないので、それまでに出来る事はやらなくてははいけない。
- ・各病院の技師長クラスにも案内を出して協力体制を取ってもらうようにするのも良い。
- ・この半年くらいの間に大筋を決めなければならなくなる。

◎会長より

●日臨技のことについて

- ・新会長の考え方ややりかた、マニフェストについて読んでおいて下さい。
- ・会費納入については、自動振込みでやりたいとのこと。
- ・もう一つは振込先についてですが、日臨技では日臨技の会費しか面倒をみないと言っている。
- ・ただし、県の技師会から申請すれば一括で振り込まれて、県に戻してくれるらしいが、どちらにしても来年度からは振込み方法にしたいと言っている。

・8月8日の会長会議に持って行きますから、意見や質問のある人は連絡をください。

・日臨技の定款の中には『地臨技の会員をもって日臨技の会員とする』という文章があるが、そこを外したいと言っている。

つい最近の情報では「組織運営の中に付け加える」となっています。

・我々は日臨技と地臨技とを別の組織とするという事は考えたくない。

- ・片方だけ入っていれば良いという話しになった時に日臨技だけの会員、日臨技と岐臨技の会員、岐臨技だけの会員となって認定などの対応も難しくなってくる。
- ・自動振込みにすると今まであった助成金がなくなる可能性もある。
- ・個人ではなく施設として会費を出してもらっている会員については今まで通りでも良いとも言っているがどうかという問題もある。
- ・自動振込みの会員には全員損害保険(今までの保険+任意の保険)に自動加入できる事を目玉にしている。費用も支払ってくれる。という内容。
- ・中部の支部化についても既に方向は決まっても運用についてはまだ決まっていないので、8月8日の会長会議で話し合う予定。
- ・県外からの勤務者(住所県と勤務先県が違う)についての調査も行われる予定。

○会費の徴収をどうするか

・日臨技にお任せすれば楽になる。あるいは岐臨技独自で徴収をおこなうのか決めなくてはならない。

◎精度保障認証制度について

- ・小さい病院は認証が取れなくなったら、全部外部委託になってしまうように思える。(石郷)
- ・日臨技の精度管理をやらなくてはならないようにしたいのではないのかという疑問も出てくる。(北村)
- ・日臨技の精度管理をやりなさいということでしょ。そうしないと認証施設とは認定しないって事だから、押し付けみたいな気がしないでもない。(多和田)
- ・裏には日医の精度管理も巻き込んで というのもありそう。国の指導によって行っている形に持って行きたい。最終的には。(北村)

- ・日臨技と地臨技とは別個だという考え方には断固として反対して行きたい。もしそうなると日臨技にしか入らないという人が増えてくる。だって会費が半分で済むのだから。逆に言うと岐臨技として何をやっていくのか、入っているメリットは何だという事を考えていかなくてはならない。(北村)
- ・やはり地臨技あつての日臨技でなくてはならないという事を崩してはいけないと思っています。(北村)
- ・日臨技も公益か一般かで悩んでいるようだ。日臨技が公益を取らなかったら、他の県で公益を目指すところは困ってしまう。あくまでも日臨技は公益を目指してほしいと私はおもっています。(北村)
- ・まず読んでもらって、疑問のある人や意見のある人は8月8日までにメールや連絡を下さい。(北村)
- ・次年度からは、そういう引き落としになるのだから、早ければ1月2月の引き落としになるのだから、それまでに地臨技としてはどうするかを決めなくてはいけないという事ですよ。それは総会に諮る必要があるものでしょうか。(多和田)
- ・それは有ると思いますよ。これから3月までに理事会とか開いていくと思います。ただこれからは地臨技に対してもいろんなものに指導をかけてくると思いますよ。皆さんも日臨技の会報を読んでください。半分は新会長の考えです。(北村)
- ・とにかく意見があつたら連絡やメールを下さい。(北村)

(議長)

それではこれで第2回理事会を終了します。皆さんどうもご苦労様でした。

『第49回 中部医学検査学会抄録集を持って帰って下さい。』

以上

議 長 印

議事録署名者 印

議事録署名者 印